

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 中武 功見
副会長 多賀 学昭
幹事 岩本 正志

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4

ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第2276回 令和5年11月30日プログラム

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| それこそロータリー | 9. 点 鐘 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. |
| 4. 会長の時間 | 11. |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『明るく居心地の良いクラブから、希望の種子を』

第2730地区ガバナー 池ノ上 克

中部グループガバナー補佐 長嶺 貴臣

RI 会長テーマ

『世界に希望を生み出そう』

第2730地区テーマ 『平和を求め、希望あふれる、
明るいロータリーライフを進めよう』

11月の月間テーマ

ロータリー財団月間

本日の例会案内

- *会員卓話—福岡直樹君・甲斐宏昌君
- *100万ドルランチBOX

次週例会案内；12月7日（第2277回）

- *月初めのセレモニー
- *雑誌紹介
- *会員卓話—高橋康朗君
- *米山ランチBOX
- *例会終了後理事会

第2275回 例会内容 (11/16)

☆会長の時間

皆様お疲れ様です。本日も、高鍋ロータリークラブ例会にご出席いただき誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

今日、11月16日は第三木曜日ということで、ボジョレー・ヌーヴォーの解禁日ですね。私も以前、地中海料理のお店をしていた

時には、ボジョレー・ヌーヴォーを樽で仕入れ、お店で提供していましたが、最近はほとんど飲む機会がなくなっていました。今日は久しぶりにボジョレー地方の新酒（ヌーボ）を、味わってみようかなと思っております。

さて、毎週申し上げておりますが、今月はロータリー財団月間です。皆様、国際ロータリー第2730地区のホームページはご覧になっていますでしょうか。私は会長の時間のネタ仕込みのために、毎週アクセスしております。そのトップページに、「ガバナー事務局より」のコーナーに、毎月の月間にちなんだ「リソースのご案内」というものがあります。会長の時間の私の話の多くを、このコーナーの資料からピックアップしてお話をさせて頂いております。

会長 中武 功見 君



しかし、11月財団月間のリソース案内はございませんでした。と、申しますのも、この地区ホームページのトップページには、別に「新着情報」というコーナーがあって、そこで毎月『RI日本事務局財団室NEWS』が更新されています。この財団ニュースが、立派なリソースとなっているからだと思われます。その財団ニュース11月号には、2023年10月23日現在のロータリーでの寄付総額世界上位5か国の順位と金額が掲載されています。そこで日本は世界第4位で寄付総額4,400,031ドル、1位はアメリカの22,853,692ドルで日本の5倍です。しかし、先週お話しした「日本人には寄付をする文化がない」というお話と、ロータリーでの寄付文化の違いはお分かりになると思います。ちなみに、2位は韓国で7,873,897ドル、3位はインドで日本とほぼ同じで、5位が台湾となり、2位から5位はアジア圏で、世界中のロータリーにおいてはアジア圏がリードしていると言っても過言ではない状況です。また、冒頭の記事には、ロータリー財団管理委員の三木明さん（姫路ロータリークラブ）が、「ロータリー財団にちなんで」という寄稿文が掲載されています。その中で、1917年、当時のロータリー会長アーチ・クランプの「世界でよいことをしよう」との合言葉のもと、26ドル50セントの寄付からロータリー財団が誕生し、多くの人々の人生を変える財団へと発展したというロータリー財団の歴史から話が始まり、ロータリーの最大の目標であるポリオ根絶がもう目の前にやってくるという続き、

慈善団体の格付けを行うアメリカの独立機関チャリティナビゲーターが、ロータリー財団に15年連続で最高評価の四つ星を付けたと結んでおられます。その他にも、{お知らせ}、「寄付・認証」、「ポリオプラス」、「補助金」、「大口寄付（一括10,000ドル以上の寄付）」等のトピックスがありますが、これらの中の「お知らせ」にあった「グローバルなアプローチでメンタルヘルスに取り組む」という話題がありましたので本日はこの話題を基にお話をさせていただきます。それは、ロータリークラブと地区の支援を受け、新しい学問分野に取り組む奨学生の紹介でした。世界がつながるにつれ、専門家たちは社会問題をグローバルに捉えるようになってきていると言います。それはここらに関しても同様で、グローバル・メンタルヘルスという新たな学問が登場し、各国でどのように心理的問題が診断され、治療が行われているかを探求する学問だということです。この事をイギリスの大学で学んでいる4名の奨学生の話が出ており、それぞれがここらの健康に影響を与える社会的傾向、文化的習慣、政治的・経済的背景について研究を行っているという記事でした。4名の奨学生のうち1名が、日本人の後藤悠香（はるか）さんです。スポンサークラブは大阪セントラル・ロータリークラブとイギリスのポールモール・ロータリークラブです。その後藤さんの報告を、ご紹介させていただきます。「グローバル・メンタルヘルスとは、メンタルヘルスの社会的決定要因を探ることです。グローバル・メンタルヘルスを研究するためにロンドンに来る前、私は厚生労働省で自殺予防に焦点を当てた仕事をしていました。自殺について研究する必要がありますが、関心を持つ人が比較的少ないのです。自殺者数は増えており、世界では毎年70万人が自殺でなくなっています。日本やアメリカでは非常に大きな問題です。日本の政府機関で働いていた私は、政策がこの状況をほとんど無視していることに気づきました。人々はメンタルヘルスの社会的決定要因を真に理解していません。私たちは、自殺が個人の体験（例えば、自分は社会に貢献できる人間ではないと感じること）に根ざしたものであると考えがちです。しかし、全体的な政治状況など、多くの社会的・経済的要因が関係しています。個人の幸福に関して言えば、周辺の状況が大きな影響力を持ちます。私の研究は、経済の不確実性に焦点を当てています。経済的な不安と自殺率の関係が分かれば、政策立案者に経済状況を安定させるよう働きかけることができるかもしれません。」以上ですが、大変立派な報告ですよ。後藤さんのこれからの研究論文を楽しみにしたいと思います。ここで自殺の現状を、宮崎県に焦点を当ててみたいと思います。ちょうど先週の例会のあった11月9日に、令和5年度第2回宮崎県自殺対策推進協議会がありました。そこでの現状報告では、本件の令和4年の自殺者は213人で、男性が女性の3倍で、自殺死亡率は全国ワースト3位との事です。そして自殺者数のピークが中高年層から高齢者層に移動し、特に男性の80歳以上が高く、全国との格差も大きいという結果です。宮崎県精神保健センターの直野所長の県民アンケート調査報告によると、

県民の4人に1人が本気で自殺を考えたことがある。自殺念慮の原因は、家庭問題、勤務問題、健康問題の順に多いとの事でした。なんとも、やるせない話ですよ。本年度RIゴードン・マッキナリー会長の提唱する「メンタルヘルスに取り組もう」を、高鍋の地からも始めなくてはならないと、改めて強く心に誓った次第です。

それでは、本日もこの例会が、少しでも皆様方の入りに学ぶ機会になればと思います。どうぞ最後までロータリーをお楽しみください。

☆幹事報告<文書案内>

幹事 岩本 正志 君

*ポリオ募金報告

地区大会 301,452 円

宮崎神宮大祭 59,256 円

*モロッコ地震救援金

667,652 円

*赤い羽根街頭募金の協力 のお願いについて

*高鍋ロータリーカップミ ニタグラグビー大会案内

日時 2024年1月28日（日）9:30~15:10

場所 小丸河畔運動広場

*お報せ 三木 靖 様（2004~2005年度地区ガバナー）

2023年11月17日（86歳）ご逝去。



☆会員卓話

岡島 達雄 君

ロータリーソング「四つのテスト」の由来

原文は、ハーバート J. テーラー、翻訳は本田親男（当時の東京Rクラブ会員で、毎日新聞社長）です。ロータリー創立50周年を翌年に控え、周年事業委員会は「四つのテスト」の翻訳案を公募したところ全国各地から70数件の応募がありました。ロータリー文書の翻訳は、全国1区制の最初のガバナーでRI理事の手島知雄の許諾が必要であったため、彼を含めた選考委員会で先述の本田に決定しました。



さて「四つのテスト」はどのようにして発案されたのでしょうか。1932年シカゴのクラブ・アルミニウム社は破産寸前で、250人の従業員は路頭に迷うかもしれない状態でした。当時新鮮野菜の宅配便の経営で成功していたテーラーがその救済を依頼されました。考えに考えた末、「四つのテスト」案が浮かびます。彼はクラブ社の4人の宗教家（キリスト教3派とユダヤ教）に意見を聞き、四つのテストがそれぞれの教義に反しない旨を確認します。

発案後二か月の時を経ていよいよ実行です。社員は四つのテストを暗記し、懸命に社業に励んだところ5年で利息を含む全債務を返済し、20年経たないうちにクラブ社は資産を増やし、株主は相当の配当を手に入れます。

以下に原文と翻訳文を示します。

The Four-Way Test of the things we think, say, or do

1. Is it the TRUTH ?
2. Is it FAIR to all concerned ?
3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP ?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

原文の最初はThe Four-Way Test と単数で始まります。四つをばらばらで実行するのではなく、四つを同時に実行せよという意味です。さらに、翻訳では言行に照らしてから、となっていますが、原文では、まず考えるとき、それから話たり行動するとき、となっています。

- 1は、例えば、世界で最も優れた調理器具などの誇大広告はしていないか、商品の品質、納期、契約条件に問題はないか？
- 2は、作り手、売り手、買い手など全ての人に公平か、むしろ公正か？
- 3は、店の信用と評判を高め、より良い人間関係を築き上げることができるか？
- 4は、関係する全ての人に、適正な利潤と幸せをもたらすか？お客の信頼と信用を得て競争相手も好意的な態度に変わり、会社の発展につながるか？

このようにビジネスの再生、企業の発展に不可欠な「四つのテスト」は、1943年RI理事会で職業奉仕の理念として採用され、1954年第46代会長にテーラーが選出されると彼はその著作権をRIに譲りました。その年度のテーマは6個でしたが、その4番目は「四つのテスト」で身を固めよ、だったそうです。以上「四つのテスト」の解釈を独断と偏見で紹介させていただきました。参考にしたのは、ロータリー情報マニュアル(2007改訂版)と広畑富雄の「ロータリーの心と原点」(2014第6版)です。ロータリーの会合などで歌うとき、先輩の知恵とやさしさを思い出していただければ幸いです。なお「四つのテスト」を引用には、四つのテストの精神に従ってください。個人的な引用は厳禁と手続要覧にあります。

☆BOX披露 親睦活動委員長 岩切 一浩 君 <ニコニコ・財団・米山BOX>

【橋口清和君】結婚記念祝のお返し。今年の結婚記念日は祇園でディナーです
【坂田師通君】高鍋高校ラグビー部おめでとうございます。ご活躍をお祈りします。



【多賀学昭君】川南町モーツァルト音楽祭が宮崎県文化賞を11月10日に受賞しました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

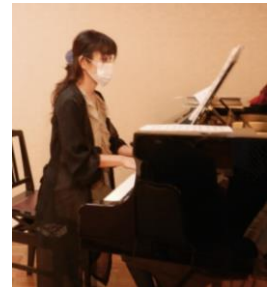
☆出席報告 出席副員長 後藤 正弘 君

出席状況 (11/16)

会 員 数	41 名
出席会員数	31 名
ホーム出席率	77.50%
前々回修正出席率	85.00%



ソングリーダー
川上幸子君



ピアノ演奏
森幸子さん



テーブルの花 薔薇

赤い羽根共同募金街頭募金のご案内

会員の皆様のご協力をお願い致します。メイクアップになります。(回覧中)

日時 2023年12月7日(木)
16:00~17:00
場所 コープ宮崎 高鍋店前

社会奉仕委員会